

植物科学の新展開

－ 分子から群集まで広視野研究をめざす －

2004年10月29日(金) 13:30-18:00

北海道大学遠友学舎 (札幌市北区北18条西7丁目)

大会会長 前島 正義

第1部: 植物科学と低温科学

細胞膜が変われば冬の寒さなんか平気?!

上村松生 (岩手大学・農・寒冷バイオ)

寒さで甘くなるジャガイモたちは...

遠藤千絵 (北農研)

酸性雨が雪に変わると植物はどうなるのか

荒川圭太 (北大・農学研究科)

どのような仕組みで冷温誘導性の細胞質の酸性化は起きるか?: 冷温傷害機構の解明に向けて

河村幸男 (岩手大学・農・寒冷バイオ)

第2部: 広領域研究を目指して

分子から個体まで、植物の水輸送を階層的に考える

村井麻理 (東北農研)

蘚類ヒメツリガネゴケは植物耐凍性研究のモデル系となりうるか

竹澤大輔 (北大院・地球環境)

寒さ・雪・山岳は植物に何を与えるか: マクロスケールからの想い

佐藤利幸 (信大・理学研究科)

スサビノリにおける細胞膜一次ポンプと膜輸送機構- 到達点と今後の課題

長谷昭 (北教大函館校・生物)

種子が目覚めるとき: 発芽を促すジベレリンの作用

鷲尾健司 (北大院・地球環境)

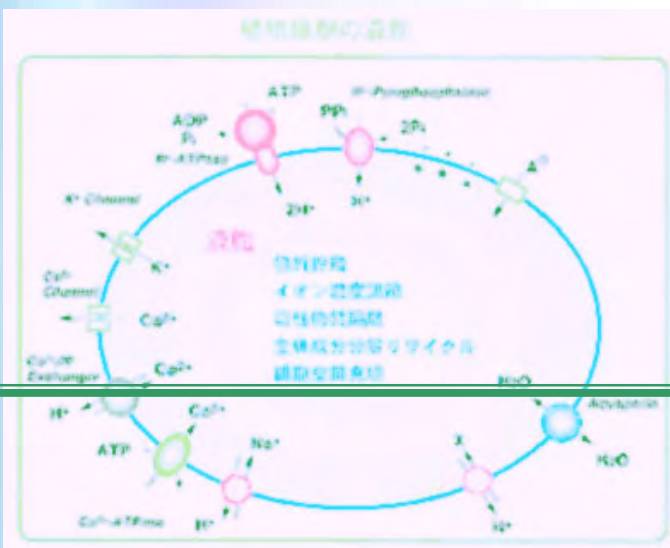
石の下にも20年: 埋土種子研究の進展状況

露崎史朗 (北大院・地球環境)

講評 吉田静夫 (北大名誉教授)

参加費: 当日500円

資料準備の都合がありますので参加を希望される方はFAXまたはE-mailにて10月20日までに下記の事務局まで連絡をお願いします。



問い合わせ先: 北海道大学大学院地球環境科学研究科
シンポジウム「植物科学の新展開」事務局 (担当: 露崎)
Tel: 011-706-2283, Fax: 011-706-4954
E-mail: tsuyu@ees.hokudai.ac.jp